



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社エージェンツ・インシュアランス・グループ 上場取引所 名  
 コード番号 5836 URL <https://www.a-gent.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一戸 敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務上級執行役員 (氏名) 高橋 真喜子 TEL 03-6280-7818  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	794	—	△2	—	△2	—	△3	—
2022年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △2百万円 (—%) 2022年12月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△1.42	—
2022年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2022年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,829	1,097	60.0
2022年12月期	1,904	1,095	57.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 1,097百万円 2022年12月期 1,095百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,767	15.3	276	40.2	276	47.1	186	66.0	80.36

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	2,323,000株	2022年12月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	－株	2022年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	2,321,678株	2022年12月期 1 Q	－株

(注) 2022年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進みましたが、引き続き金融市場の変動による影響や不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や物価の上昇等、未だ先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは持続的な成長を実現するため、国内・海外とも、引き続きWebによる面談、コンサルティング等を積極的に取り入れるとともに、AIやIT技術を活用したデジタル接点の強化を図り、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は794,359千円、営業損失は2,023千円、経常損失は2,250千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,288千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 国内事業

国内事業においては、当社のビジネスモデルの根幹である事業承継の取り組みが順調に推移し、四国初の出店として2023年2月1日に愛媛県に別大支店愛媛支社を開設いたしました。また、損害保険中心のストック型ビジネスを基盤に生命保険のクロスセルの更なる推進を行うため、2023年1月11日よりお客様にオンライン上で簡単な質問にお答えいただき、ぴったりな保険を診断する「ほけチョイス」サービスを開始いたしました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間における営業収益は753,719千円、セグメント利益は3,125千円となりました。

#### ② 海外事業

米国においては、昨年度に続き、お客様とのオンライン面談などで接点を強化し、損害保険を中心に売上が好調に推移いたしました。しかしながら、日本からの駐在員の異動が少ない第1四半期は収益が上がりにくく、決算作業の業務委託費用の支出があるため、例年どおり、当第1四半期のセグメント利益はマイナスとなりました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間における営業収益は40,639千円、セグメント損失は5,376千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,335,617千円となり、前連結会計年度末に比べ79,015千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が143,094千円減少したことによるものであります。

固定資産は493,768千円となり、前連結会計年度末に比べ3,741千円増加いたしました。これは主に顧客関連資産の増加5,681千円によるものであります。

この結果、総資産は、1,829,386千円となり、前連結会計年度末に比べ75,274千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は611,132千円となり、前連結会計年度末に比べ61,761千円減少いたしました。これは主に営業未払金が45,380千円減少したことによるものであります。

固定負債は121,061千円となり、前連結会計年度末に比べ15,070千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少14,470千円によるものであります。

この結果、負債合計は、732,193千円となり、前連結会計年度末に比べ76,831千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,097,192千円となり、前連結会計年度末に比べ1,557千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,060千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.0%（前連結会計年度末は57.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表した「2022年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	946,075	802,980
売掛金	410,403	438,679
その他	58,154	93,957
流動資産合計	1,414,633	1,335,617
固定資産		
有形固定資産	52,882	54,130
無形固定資産		
顧客関連資産	205,704	211,385
その他	163,012	153,014
無形固定資産合計	368,716	364,400
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,672	32,661
その他	40,255	43,076
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	68,427	75,237
固定資産合計	490,027	493,768
資産合計	1,904,660	1,829,386
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	54,542	54,480
営業未払金	374,621	329,241
未払法人税等	39,845	8,319
代理店手数料返金負債	43,158	43,215
その他	110,724	125,875
流動負債合計	672,893	611,132
固定負債		
長期借入金	131,327	116,857
その他	4,804	4,204
固定負債合計	136,131	121,061
負債合計	809,025	732,193
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,304	336,364
資本剰余金	243,787	245,848
利益剰余金	500,928	497,640
株主資本合計	1,079,019	1,079,853
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,615	17,339
その他の包括利益累計額合計	16,615	17,339
純資産合計	1,095,635	1,097,192
負債純資産合計	1,904,660	1,829,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
営業収益	794,359
営業費用	796,382
営業損失(△)	△2,023
営業外収益	
受取利息	8
その他	44
営業外収益合計	52
営業外費用	
支払利息	279
その他	0
営業外費用合計	280
経常損失(△)	△2,250
特別損失	
リース解約損	311
特別損失合計	311
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,561
法人税等	726
四半期純損失(△)	△3,288
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,288

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失(△)	△3,288
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	723
その他の包括利益合計	723
四半期包括利益	△2,564
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	国内事業	海外事業	合計 (注)
営業収益			
保険代理店事業	753,719	40,639	794,359
顧客との契約から生じる収益	753,719	40,639	794,359
外部顧客への営業収益	753,719	40,639	794,359
セグメント間の内部営業収益又は振替高	-	-	-
計	753,719	40,639	794,359
セグメント利益又は損失 (△)	3,125	△5,376	△2,250

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の経常損失 (△) と一致しております。